

教育システム情報学会

Japanese Society for Information and Systems in Education



発行日 2002年 7月31日
 発行所 教育システム情報学会
 発行者 岡本敏雄
 〒661-8520 尼崎市南塚口町7-29-1
 園田学園女子大学情報教育センター内
 ☎06-4961-6507 FAX06-4961-6508
<http://www.jsise.org/>
 E-mail:secretariat@jsise.org

ニュース・レター No.118

第27回全国大会プログラム



ユビキタス情報社会への挑戦
 ~新しい教育パラダイムの構築を目指して~



前号でお知らせしましたように、本会の第27回全国大会が8月29日(木)・30日(金)から開催されます。今号では、大会プログラムを掲載します。ご確認のうえお越しください。多数のご参加をお待ちしております。

開催日時：2002年8月29日(木)・30日(金)

場所：静岡大学城北キャンパス(静岡県浜松市城北3-5-1)

大会ホームページ：<http://horilab.ia.inf.shizuoka.ac.jp/JSiSE2002/>

8月28日(水) 【大会共催企画】

15:00	大会共催企画 「情報教育セミナー」 主催：教育システム情報学会・情報教育特別委員会
18:00	

8月29日(木) 【第1日】

9:00	受付							企業展示
10:00	基調講演 「教育の情報化」最先進国への道程 - 教育システム情報学会の果たす役割と機能 - 岡本敏雄(電気通信大学)							
11:00	特別講演「大学改革と科研費」 西阪 昇(文部科学省研究振興局学術研究助成課)							
12:00	理事会							
13:30	総会							
14:00	T1:企画セッション CAI研究会	T2:企画セッション 情報教育 研究部会	T3:企画セッション 知識・言語処理 応用研究部会	A1:一般講演 マルチメディア利 用	A2:一般講演 学習コンテンツ デザイン	A3:一般講演 遠隔学習(1)	A4:シンポジウム eラーニングシ ンポジウム	
16:00								
16:10	パネル討論会I 「ユビキタス学習環境の展開」			B1:一般講演 語学教育(1)	B2:一般講演 プログラミング 教育	B3:一般講演 認知・知覚・生体	B4:一般講演 知的インタ フェース	
18:00								
18:30	懇親会							

2ページへつづく

8月30日(金) 【第2日】

9:00	受付							企業展示
9:30	T4:企画セッション マルチメディア教材 研究部会	T5:企画セッション 企業内教育研究部会	T6:企画セッション インターネットと教育 応用研究部会	C1:一般講演 遠隔学習(2)	C2:一般講演 情報教育(1)	C3:一般講演 教育方法・評価	C4:一般講演 コラボレーション	
11:30	昼食							
13:00	パネル討論会II 「同期・非同期コミュニケーションシステムの教育利用の新しい展開」 (サイバー討論会)			D1:一般講演 語学教育(2)	D2:一般講演 知的学習支援	D3:一般講演 英語セッション		
14:50	E5:一般講演 インターネット・ Web利用	E6:一般講演 情報倫理・セキュリティ	E7:一般講演 情報教育(2)	E1:一般講演 ゲーム・シミュ レーション	E2:一般講演 学習コンテンツ デザイン(2)	E3:一般講演 教育実践システム	ポスター・デモ セッション	
15:00								
17:00								

★ おねがい ★

8月20日を過ぎますと、「教育システム情報学会全国大会事務局」の郵便局払込取扱票でのお支払はできません。大会当日に受付にてお支払いいただくこととなります。事前払込にご協力をおねがいします。論文集、懇親会費は、事前のお値段とは異なりますので、ご注意ください。

基調講演

8月29日(木) 10:00~11:00

基調講演 「教育の情報化」最先進国への道程
～教育システム情報学会の果たす役割と機能～

8月29日(木) 10:00~11:00
講演: 岡本 敏雄(電気通信大学)

特別講演

8月29日(木) 11:00~12:00

特別講演 大学改革と科研費

8月29日(木) 11:00~12:00
講演: 西阪 昇(文部科学省研究振興局学術研究助成課)

パネル討論会

8月29日(木) 16:10~18:00

パネル討論会 コピキタス学習環境の展開

8月29日(木) 16:10~18:00
司会: 大槻 説乎(広島市立大学)

パネリスト 伊藤 紘二 (東京理科大学基礎工学部)
竹林 洋一 (静岡大学情報学部)
上野 隆博 (富士ゼロックス情報システム株式会社)
矢野 米雄 (徳島大学工学部)

8月30日(金) 13:00~14:50

パネル討論会 同期・非同期型コミュニケーションシステムの教育利用の新しい展開
(サイバー討論会)

8月30日(金) 13:00~14:50

司会: 野嶋 栄一郎(早稲田大学人間科学部)

パネリスト 小荒井 順 (NECソフトウェア株式会社)
堀田 龍也 (静岡大学情報学部)
堀内 匡 (インターワイズ株式会社)
福井 稀一 (大阪大学工学研究科応用生物学専攻)
中嶋 幹男 (大阪大学生物工学国際交流センター)

大会共催企画

8月28日(水) 15:00~18:00

大会共催企画 「情報教育セミナー」
~教育システム情報学会の果たす役割と機能~

8月29日(木) 10:00~11:00

主催: 教育システム情報学会・情報教育特別委員会

開催日時: 8月28日(水) 15:00~18:00

会場: 静岡大学情報学部2号館2階 情報24教室

コーディネイター 磯本征雄(名古屋市立大学)

プログラム

1. 情報教育特別委員会委員による講演
2. 参加者を交えた総合討論

一般研究

8月29日(木) 14:00~16:00

マルチメディア利用

8月29日(木) 14:10~16:00

議長: 市村 洋(東京工業高専)

- A1-1** 幼児教育科学生による「デジタル紙芝居」制作と現場実践(2)
新谷公朗(常磐会短期大), 平野真紀(常磐会短期大), 井上明(甲南大), 植田明(常磐会短期大)
宮田保史(常磐会短期大), 金田重郎(同志社大院)
- A1-2** ビデオ編集・配信をサポートした演習環境
梶井猛, 梶木克則(甲子園大)
- A1-3** ミュージアムネットワークにおける社会見学ガイドシステムの開発とその評価
岩崎公弥子(電気通信大), 安田孝美(名古屋大), 横井茂樹(名古屋大), 岡本敏雄(電気通信大)
- A1-4** マルチメディア技術を活用した無形文化財のデジタル・コンテンツの開発
北川博美(中部学院大短期大学部), 磯本征雄(名古屋市立大)
- A1-5** 液晶画面をカメラ撮影することによるビデオ教材作成演習
梶木克則, 梶井猛(甲子園大)
- A1-6** ペン字・書道を事例とした遠隔教育システムにおける文字の自動評価について
鈴木 雅人(東京工業高専), 桂川 泰祥((財)情報処理相互運用技術協会), 藪田 直紀(東京工業高専)
野辺 昌史, 水野 忠則, 酒井 三四郎(静岡大学), 市村 洋(東京工業高専)
- A1-7** ビデオストリーミングを活用した3Dオンラインミュージアム構築支援ツール
復本寅之介, 遠藤守, 安田孝美, 横井茂樹(名古屋大)
- A1-8** 分散型VODにおける関連情報表示に基づく自己学習支援インタフェースの提案
入部百合絵, 安田孝美(名古屋大)

学習コンテンツデザイン

8月29日(木) 14:10~16:00

座長: 松居 辰則 (電通大)

- A2-1** 商業教育におけるグループウェア
藤本孝一郎 (城西大), 坂本眞一郎 (宮城大)
- A2-2** LaTeX 記述による Web 対応線形代数学習システム
峯崎 俊哉 (東海大)
- A2-3** まちづくり教育のための3次元都市モデルの自動生成システム
杉原健一 (岐阜経済大)
- A2-4** 解答選択形式学習問題の解答傾向を利用した出題システム
森部幹人, 酒井三四郎 (静岡大)
- A2-5** 問題解決演習ワークブック中級編への取り組み - メリット・デメリット計算とデジジョンテーブル -
稲浦 綾, 佐藤 妙子 (大阪電通大), 渡邊 寛二 (大阪電通短期大), 石桁 正士 (大阪電通大)
- A2-6** 教材構造モデルに基づく HTML 文書からのメタデータ抽出
野中和幸, 松居辰則, 岡本敏雄 (電気通信大)
- A2-7** Web 教材を再利用する Web データベースの開発
佐藤大樹, 安達 猛, 香月 智志, 松田 洋, 石川 孝 (日本工業大)
- A2-8** 授業プランによる Web 教材の構造化と再利用
松田洋, 石川孝 (日本工業大)
-

遠隔学習 (1)

8月29日(木) 14:10~16:00

座長: 水野 積成 (名古屋外語大)

- A3-1** インターネットを利用したレポート添削システムの開発
石塚丈晴 (静岡大)
- A3-2** e-learning を指向した教育方法の事例研究
江見圭司, 石井充 (金沢工大)
- A3-3** サイバーフリースクールにおける集まる教育の試み
村田育也 (北海道教育大)
- A3-4** 分散環境下における学習情報の体系的な管理システムの構築
田中善純, 松居辰則, 岡本敏雄 (電気通信大)
- A3-5** 指点字教材と学習支援装置の開発
柿戸 英広, 棕田 實 (日本工業大)
- A3-6** 超鏡 (HyperMirror) システムを用いた国際交流学習の実践と今後の課題
今井亜湖, 松河秀哉, 山田雅行, 前迫孝憲 (大阪大), 山城新吾 (兵庫教育大)
芝尾光儀, 伊原和夫 (先進的教育情報環境整備推進協議会)
- A3-7** e-learning の教育的な位置づけ
鍵本聡, 佐藤等史 (関西学院大), 矢島彰 (京都女子大)
石井充, 江見圭司 (金沢工大), 田中規久雄 (大阪大), 中條道雄 (関西学院大)

企画セッション

8月29日(木) 14:00~16:00

C A I 研究部会 若手研究者による教育システム再考察

8月29日(木) 14:10~16:00

コーディネーター: 林敏浩(佐賀大)

- T1-1** 教育システム研究開発のスケールアップ
池田 満(大阪大)
- T1-2** リフレクションの補助としての学習支援環境
平嶋宗(九州工業大)
- T1-3** 教育システムにおいて学習プロセス評価は可能か?
松居辰則(電気通信大)
- T1-4** 教育システムにおける評価の再考: 何のための評価か?
松田昇(ピッツバーグ大), 林敏浩(佐賀大)
- T1-5** バーチャルリアリティによる協調学習支援システム - 発電プラント制御室への応用 -
松原行宏, 富永浩之, 山崎敏範(香川大)
- T1-6** 初等アセンブラプログラミング評価支援システムの開発
渡辺博芳(帝京大)

情報教育研究部会 ポスト「教科・情報」の大学の情報教育

8月29日(木) 14:10~16:00

コーディネーター: 松永 公廣(摂南大), 西野 和典(大阪電通大)

- T2-1** 初等中等教育からみた教科「情報」への期待
田端 矢一郎(常磐会学園大)
- T2-2** 高等学校「情報」の実践において予想される問題点
山上 通恵(兵庫県立神戸甲北高等学校), 野口 紳一郎(龍谷大)
中條 道雄(関西学院大), 西野 和典(大阪電通大)
- T2-3** 高等学校「情報」における「モデル化とシミュレーション」のための教材開発
下倉雅行, 高橋参吉(大阪府立工業高専), 中野勝之(神戸市立兵庫商業高校)
正司和彦(兵庫教育大)
- T2-4** 教科「情報」における文科学部への対応
松永公廣(摂南大)
- T2-5** 基礎的情報教育における自己学習型学習システムの提案
山本 恒(園田学園女子大)

知識処理応用研究部会

8月29日(木) 14:10~16:00

学習支援システムの基盤技術としての言語処理と知識処理

コーディネーター: 伊藤紘二(東京理科大)

- T3-1** テンプレート・オートマトンを使った英作文自動添削システム
徳田尚之(榊サン・フレア R&Dセンター)
- T3-2** 知的英語学習支援システムの質問応答機能における意味的誤り治療
山崎 一徳, 國近 秀信, 平嶋 宗, 竹内 章(九州工業大)
- T3-3** 学習コンテンツのドメイン指向再利用
田村恭久(上智大)
- T3-4** 日本語対話訓練システムにおける非文解釈手法
鈴木正浩, 伊藤敏彦, 小西達裕, 近藤真, 伊東幸宏(静岡大)
- T3-5** 参照履歴を利用した言語学習支援システムの試作
掛川淳一, 石川賢太郎, 大崎大, 伊丹誠, 伊藤紘二(東京理科大)
- T3-6** 知的学習支援システム: 現状と提案
伊藤紘二(東京理科大)

シンポジウム

8月29日(木) 14:00~16:00

eラーニングシンポジウム

eラーニング技術委員会

8月29日(木) 14:10~16:00

座長: 小松秀園(株NIT ラーニングシステムズ)

- A4-1** 動的視覚化による新しい教育技法 - 大学での数学教育等での実践例 -
浪平 博人(大妻女子大)
- A4-2** 日本におけるeラーニングによるMBAプログラムの実践記録
菊池尚代, 伊藤泰史(株ビジネス・ブレイクスルー)
- A4-3** 協調学習向け学習基盤の開発 - Collaborative Technologies と Collaborative Learning -
香山瑞恵(専修大), 岡本敏雄(電気通信大)
- A4-4** 東北大学インターネットスクールの特徴と課題
渡部信一(東北大院教育情報学研究部)
- A4-5** 海外の大学におけるe-Learningの事例: スタンフォード大学
永岡慶三(メディア教育開発センター)
- A4-6** アジアe-Learningネットワークが始動 - e-Japanにおける一つのe-Learning -
伊藤健二(先進学習基盤協議会), 山内祐平(東京大)

一般研究

8月29日(木) 16:10~18:00

語学教育(1)

8月29日(木) 16:10~18:00

座長: 松原 行宏(香川大学)

- B1-1** インタラクティブ電子ホワイトボードを利用した書き方学習システム
富永浩之, 稲見 望, 松原行宏, 山崎敏範(香川大)
- B1-2** 双方向マルチメディア支援システムの開発 - 同時通訳トレーニングのために -
中村勝則, 東野勝治, 松縄順子(平安女学院大)
- B1-4** 英語での研究論文作成を支援する辞書システム
金子周司(京大), 藤田信之(国立遺伝学研究所), 鶴川義弘(宮城教育大)
河本 健(広島大), 竹内浩昭(静岡大), 竹腰正隆(東海大), 大武 博(京都府立医科大)
- B1-5** 携帯電話による英単語学習の蓄積とメッセージ交換の試み
仲田 和宏, 松本 光一, 梶浦 文夫(倉敷芸技大), 宮地 功(岡山理科大)
市村 洋(東京工業高専), 吉田 幸二(倉敷芸術科学大)
- B1-6** 統計的手法を利用した英作文の評価
鳥越秀和, 村上純一(詫間電波工業高専), 岡部一光, 三宅新二(株両備システムズ)
三宅忠明, 横田一正(岡山県立大学)
- B1-7** 高臨場感ディスプレイとVR技術を用いた教育用インタラクティブコンテンツ
生井 仁, 守屋 俊夫, 紅山 史子(株日立製作所), 宇都木 契, 足立 茂夫(通信・放送機構)
佐藤 洋輔(株日立情報制御システム)

プログラミング教育

8月29日(木) 16:10~18:00

座長: 杉原 健一(岐阜経済大学)

- B2-1** コミュニティウェブによるプログラミング演習の質問支援
石川孝, 松田洋, 高瀬浩史(日本工業大)
- B2-2** グループチャット型CSCLシステムの提案 プログラミング演習への応用
稲見 望, 富永浩之, 松原行宏, 山崎敏範(香川大)
- B2-3** ソフトウェア知識の共有・再活用支援
菅谷 克行(東京大), 大須賀 節雄(早稲田大)
- B2-4** 遠隔講義でのプログラミング指導について
最首和雄, 石田賢孝(明星大)
- B2-5** 書籍とe-Learningシステムとの自動的な協調システム
内田智史(神奈川大)
- B2-6** プログラミング学習のための電子学習環境の構築と評価
高橋参吉(大阪府立工業高専), 松永公廣(摂南大)
- B2-7** アニメーションを用いたオブジェクト指向言語プログラムの学習支援
岩本 裕朗, 酒井 三四郎(静岡大)
-

認知・知覚・生体

8月29日(木) 16:10~18:00

座長: 柏原 昭博(大阪大学産業科学研究所)

- B3-1** 名刺デザイン評価システムに関する基礎研究
水谷秀雄(デザインテクノロジー専門学校), 玉木明和(東亜大)
- B3-2** Adaptive Paht Preview - ハイパー空間における主体的学習のためのナビゲーション支援 -
長谷川忍(北陸先端大), 柏原昭博(大阪大)
- B3-3** ハイパー空間におけるナビゲーションプロセスのモニタリング支援
柏原昭博(大阪大), 長谷川忍(北陸先端科学技術大), 久米井邦貴, 豊田順一(大阪大)
- B3-4** 認知操作過程を学習するための補助ツール Beatone の構築
小椋大地, 対馬勝英(大阪電通大)
- B3-5** 知覚情報と経験について()
金山 茂雄(拓殖大), 加藤 あけみ(人間総合科学大)
- B3-7** サイバースペースの認知差
平澤洋一(城西大短期大部)
-

知的インタフェース

8月29日(木) 16:10~18:00

座長: 平嶋 宗(九州工業大学)

- B4-1** 協調学習環境における音声による議論の発話意図の分類
久保類, 松居辰則, 岡本敏雄(電気通信大)
- B4-2** 対話文法に基づく要約知識を利用した要約情報生成機構に関する研究
傳田亮介, 松居辰則, 岡本敏雄(電気通信大)
- B4-3** 知的学習支援システムにおける問題のオープン化機能
吉田誠, 平嶋宗, 竹内章(九州工業大)
- B4-4** レポート構造に基づくレポート自動要約システムの開発
小林友也, 松井 辰則, 岡本 敏雄(電気通信大)
- B4-6** 発見科学的アプローチによる学習履歴情報の知識化
松居辰則, 岡本敏雄(電気通信大)
- B4-7** 高校化学の物質構造分野を対象とする知的教育環境の構築
行本諭, 小西達裕, 伊東幸宏(静岡大)

企画セッション

8月30日(金) 9:30~11:30

マルチメディア教材研究部会
マルチメディア教材の実践活用

8月30日(金) 9:30~11:30

コーディネーター: 磯本征雄(名古屋市立大), 伊藤 敏(愛知工科大)
吉根 勝美(南山大), 野崎 浩成(愛知教育大)

- T4-1** Web教材のオーサリングシステムと英語速読教材への適用
本上徹, 間地いづみ, 國近秀信, 平嶋宗, 竹内章(九州工業大)
- T4-2** マルチメディア教材作製とその運用・評価 - 英語教育と学生実験への利用の試み -
山崎初夫, 牛田隆之, 多和田昌弘, 下山宏(名城大)
野崎浩成(愛知教育大), 磯本征雄(名古屋市立大)
- T4-3** インターネット配信を目的としたマルチメディア教材開発とその活用
沈 海農, 神谷 勇毅, 中野 宇宙, 蟹江 保, 磯本征雄(名古屋市立大)
- T4-4** マルチメディア技術を用いた漢字学習 CAI システム構築におけるコンテンツ開発と教育実践
林敏浩, 林田行雄(佐賀大), 矢野米雄(徳島大)
- T4-5** リアルタイム評価値の同期フィードバックによるプレゼンテーション学習システム
大倉孝昭(大谷女子大), 東野勝治(平安女学院大), 北村光一(彦根工業高校), 岩間徹(平安女学院高校)
栃木欣也(水口東高校), 檜皮修(大津養護学校)

企業内教育研究部会

8月30日(金) 9:30~11:30

コーディネーター: 小松秀園(NTTラーニングシステムズ)

- T5-1** 図面による情報処理システム設計書作成法
林田熙, 福田民生, 飯倉道雄(日本工業大)
- T5-2** 図面による情報処理システム設計法の教育
飯倉道雄, 林田熙, 福田民生(日本工業大)
- T5-3** 学習オブジェクト共有・再利用のための語彙体系の開発 : LOMオーサリングと学習オブジェクト検索システムでの実装と検証
平田謙次(産業能率大), 高岡良行, 太田衛(東光精機株)
- T5-4** 産業界におけるデータベース教育の留意点
田淵隆明(関西NTT-DATA通信システムズ株), 江見圭司(金沢工業大)

インターネットと教育応用研究部会
インターネットと学習支援システム

8月30日(金) 9:30~11:30

コーディネーター: 米澤宣義(工学院大), 佐々木整(拓殖大)

- T6-1** Web環境の教材提示システム
米澤宣義, 平井和人, 山本浩司, 佐々博音(工学院大)
- T6-2** Webマルチメディア教材表示の同期制御方法について
樋川和伸, 岡田政則(金沢学院大)
- T6-3** WBTにおける演習問題生成について
金西計英, 矢野米雄(徳島大)
- T6-4** 統合的e-Learning環境の構築と産学協同教育プログラムでの実践
岡本敏雄(電気通信大), 香山瑞恵(専修大)
- T6-5** マルチメディア教材配信と遠隔指導へのインターネット活用
磯本 征雄, 神谷 勇毅, 沈 海農, 中野 宇宙, 蟹江 保(名古屋市立大)
- T6-6** WWWの情報探索における認知プロセスの検討
三輪和久, 齋藤ひとみ(名古屋大)
- T6-7** 仮想空間を用いた遠隔学習のための教材開発フレームワークの提案
岩崎昇一, 佐々木整, 竹谷誠(拓殖大)

一般研究

8月30日(金) 9:30~11:30

遠隔学習(2)

8月30日(金) 9:30~11:30

座長: 渡辺 健次(佐賀大学)

- C1-1** 電子情報工学教育における Web サポートシステムの構想
佐々木信之(群馬工業高専)
- C1-2** 自己学習支援システムの機能強化と運用に関する研究
伊藤剛和, 原 克彦(園田学園女子大)
- C1-3** 実時間遠隔授業におけるマルチメディア同期処理方式に関する考察
野木健一郎(稚内北星学園大), 鈴木雅人,
市村 洋(東京工業高専), 桂川泰祥((財)情報処理相互運用技術協会),
谷沢智史, 水野忠則, 酒井三四郎(静岡大学), 植田龍男(稚内北星学園大)
- C1-4** 多地点接続と携帯電話によるグループ別交流を取り入れた遠隔授業の実践
森田裕介, 藤木卓, 中村千秋, 上園恒太郎(長崎大)
- C1-5** 遠隔教育における対面学習支援システム
布施泉, 小稲雄介, 岡部成玄(北海道大)
- C1-6** 高精細映像を用いた板書型遠隔講義のための黒板画像遠隔提示システムの実現と展開
渡辺健次, 角規彦, 大谷誠, 田中久治, 岡崎泰久, 近藤弘樹(佐賀大)
- C1-7** 学習オブジェクトの適応的系列化機能を有する e-Learning システムの開発とその評価
関一也, 岡本敏雄(電気通信大)
- C1-8** ペン字書道における実時間遠隔指導の分散データベース構造の一考察
桂川泰祥((財)情報処理相互運用技術協会), 鈴木雅人(東京工業高専), 山下静雨
(ペン習字研修センター)市村 洋(東京工業高専), 水野忠則, 酒井三四郎(静岡大)

情報教育(1)

8月30日(金) 9:30~11:30

座長: 村山 功(静岡大)

- C2-1** 幼児教育現場における情報教育の試み
松田知明(羽陽学園短期大)
- C2-2** タッチタイプから始まる情報教育 総合的な学習の時間における「情報」の位置付け
小田切 真(常葉学園大)
- C2-3** 高等学校新教科「情報」の学習内容に応じた評価方法の検討
西野和典(大阪電通大), 山上通恵(兵庫県立神戸甲北高等学校)
- C2-5** 文系大学における学生のコミュニケーションプロセスを重視した情報教育
高橋一夫(仏教大), 新谷公朗(常磐会短期大), 田端矢一郎(常磐会学園大)
- C2-6** 今後の大学における情報教育に関する研究 受講者の学力差に対応する情報教育の1提案
正木幸子(大阪商業大)
- C2-7** 複数の制御方式を用いた計算機実験装置の開発 - 基本構想 -
土山牧夫(玉川大)

- C3-1** 高等学校におけるプレゼンテーション能力の指導-情報教育におけるプレゼンテーションの学習者モデルの提案-
北村光一(彦根工業高校), 大倉 孝昭(大谷女子大)
岩間 徹(平安女学院高校), 東野 勝治(平安女学院大)
- C3-2** 学習者の理解度の比例、積分、微分成分による CAI の制御方式
村瀬孝宏(中京短期大), 磯本征雄(名古屋市立大)
- C3-3** e-learning のための教育方法の要素分析
田中規久雄(大阪大), 鍵本聡(関西学院大), 江見圭司(金沢工大), 佐藤等史(関西学院大)
石井充(金沢工大), 矢島彰(京都女子大), 中條道雄(関西学院大)
- C3-4** PC によるプレゼンテーション教育
松下孝太郎, 年森敦子(鎌倉女子大), 馬場裕(横浜国立大)
- C3-6** 問題解決演習ワークブック用学習支援システムの試作
佐藤妙子, 稲浦綾, 渡辺寛二, 石桁正士(大阪電通大)
- C3-7** 携帯電話を用いた授業評価システムの開発について
黒田恭史, 高橋一夫(佛教大), 菅井勝雄(大阪大)
- C3-8** デジタルポートフォリオを使った絶対評価システムの開発と検証
浦 嘉太郎, 成田 滋(兵庫教育大), 山口 直哉, 岸本 正彦, 五嶋 健二(株TDK)

- C4-1** コピキタス学習(u-learning)と知識創造科目の開発
西之園晴夫(佛教大)
- C4-2** 青年期における自己発見支援のシステム開発と評価
香川順子, 菅井勝雄(大阪大)
- C4-3** コミュニティサイト構築ツール「XOOPS」を用いた授業支援
江上邦博(千葉経済大短期大)
- C4-4** W B T の運用とその評価
洪井二三男(城西大), 辻 達之(九州工業大)
- C4-5** リレーションに着目した学校間交流学習コミュニティの分析
稲垣 忠, 土井 大輔(関西大), 宇治橋 裕之(NHK エデュケーショナル), 黒上 晴夫(関西大)
- C4-6** 組織知メモリを中心とした多角的学習支援環境
林雄介, 津本紘亨, 池田満, 溝口理一郎(大阪大)
- C4-7** 非同期型協調学習モデルの検討と支援機能の整理
香山瑞恵(専修大), 岡本敏雄(電気通信大)
- C4-8** 協調場パターンに基づく協調学習の設計支援
武内雅宇, 津本紘亨, 林雄介, 池田満, 稲葉晶子, 溝口理一郎(大阪大)

一般研究

8月30日(金) 13:00~14:50

語学教育(2)

8月30日(金) 13:00~14:50

座長: 越智 洋司(徳島大学)

- D1-1** 院内学級との学校間協調学習支援の試み 英語教育における教育連携パラダイムの構築
西堀ゆり, 岡部成玄, 山本裕一(北海道大)
- D1-2** XMLによるマルチメディア型漢字データベースの設計手法
島田雅史, 富永浩之, 松原行宏, 山崎敏範(香川大)
- D1-3** 論理構造表示による日本語作文教育
脇田里子(福井大), 越智洋司(徳島大)
- D1-4** 日本語学習者が読解の際に情報を必要とする語句の分析
寺朱美(北陸大), 望月源(東京外国語大), 島津明(北陸先端科学技術大)
- D1-5** 日本語教育からみた漢字学習に関するコンピュータ支援教育システム
山下直子, 松原行宏, 山崎敏範(香川大)
- D1-6** 韻律の成分に着目した日本語学習支援システム
中村宏, 秋葉祐司, 伊丹誠, 伊藤紘二(東京理科大)

知的学習支援

8月30日(金) 13:00~14:50

座長: 竹内 章(九州工業大学)

- D2-1** コンピュータを利用した音楽教育システムの構築
荻原 尚, 木川 裕(武蔵野短期大)
- D2-2** 多角的視点表示可能な歴史年表ソフトの試作
林 良雄(秋田大)
- D2-3** テキストによる学習を支援する電子ノートの検討
奥田富蔵, 及川義道, 大塚一徳, 井上靖(東海大)
- D2-4** WWW上のオンライン手書き数式入力インタフェースにおける文字認識評価
岡崎泰久, 馮向陽(佐賀大), 岡本正義(三洋電機㈱), 近藤弘樹(佐賀大)
- D2-5** 別解への気づきを与えるUNIXコマンド学習支援システム
山本 樹峰, 松尾 浩明, 國近 秀信, 平嶋 宗, 竹内 章(九州工業大)
- D2-6** マルチエージェントを用いた学習進捗管理機構の設計
唐澤俊太, 松居辰則, 岡本敏雄(電気通信大)
- D2-7** 二項演算を対象とした作問学習支援環境におけるフィードバック
柳原 健志, 中野 明, 平嶋 宗, 竹内 章(九州工業大)

英語セッション

8月30日(金) 13:00~14:50

座長: 大島 純(静岡大学)

- D3-1** Japanese educational technology versus American and Russian educational technology
Larisa Soldatova (Vladivostok State University of Economy and Service)
Masato Soga (Wakayama University), Larisa Preiser (Californian State Polytechnic University)
- D3-2** The Model of Knowledge Transfer in The DiscoverNet Environment
Safia Belkada, Toshio Okamoto (The University of Electro-communications)
- D3-3** A Concept-based Approach for Knowledge Representations and Manipulations in an e-Learning Course
Jin Chen, Toshio Okamoto (The University of Electro-Communications)
- D3-4** Extension of the method of generate visual explanations of program's behaviors
Fumihiko Anma, Tatsuhiko Konishi, Yukihiko Itoh (Shizuoka University)

一般研究

8月30日(金) 15:00~17:00

ゲーム・シミュレーション

8月30日(金) 15:00~17:00

座長: 山崎 初夫(名城大学)

- E1-1** 簿記会計学習支援システムの構築
吉田真友, 黒瀬能幸(近畿大)
- E1-2** リアルタイム応答ゲームにおけるフィードバック
植野雅之(大阪電通大), 井町充晶, 上月景正(コナミ株)
- E1-3** ゲームシミュレータにおける認知動作過程の評価
上月景正, 井町充晶(コナミ株), 植野雅之(大阪電通大), 対馬勝英(大阪電通大)
- E1-4** 融合型ゲーム化手法による作問学習ゲームの例と実現
梅津孝信, 平嶋宗, 竹内章(九州工業大)
- E1-5** 主観値入力装置を用いたゲームの評価の研究 - ゲームのプレイヤーと観客のデータの比較 -
上月景正(コナミ株), 浅羽修丈(大阪電通大), 井町充晶(コナミ株), 石桁正士(大阪電通大)

学習コンテンツデザイン(2)

8月30日(金) 15:00~17:00

座長: 堀田 龍也(静岡大学)

- E2-1** オンラインヘルプの改善とその効果
広瀬 啓雄(諏訪東京理科大), 難波 和明(東京理科大)
- E2-2** 情報デザイン学習のためのインタフェース選択型教材システムの開発
宮崎謙弘, 堀田龍也(静岡大)
- E2-3** Web リソースを利用した環境教育教材作成法の提案
孫 暁萌, 酒井徹朗(京大)
- E2-4** 個別学習能力によるハイパーテキスト型教材「シスアドブック」の開発
尾崎正弘, 武岡さおり, 川田博美(名古屋女子大), 小山幸治, 足達義則(中部大)
- E2-5** ビジネスゲームを活用した教育への試み
南 俊博, 松村政樹, 中西一夫(金沢学院大)
- E2-6** 初めてのキーボード学習支援システム
玉井基宏, 田熊知幸, 菅野英弘, 中村 学, 大槻説乎(広島市立大)
- E2-7** 視覚メタファを利用した手話学習システムのための指導手法
田畑慶人, 村上満佳子(奈良先端科学技術大), 黒田知宏(京都大附属病院)
千原國宏(奈良先端科学技術大)
- E2-8** デジタル・コンテンツを用いた授業活動の推定に基づく授業記録の分析手法
松田憲幸, 原田勝行, 瀧寛和(和歌山大)

教育実践システム

8月30日(金) 15:00~17:00

座長: 村瀬孝宏(中京短期大学)

- E3-1** 3つの学習リソースのブレンディングによるeラーニングシステムの開発
村上 守, 森下誠太, 堀田龍也(静岡大)
- E3-2** Web 作成サークルによる情報教育と大学の活性化・地域活動の試み
佐々木豊(新潟大), 蘆田一郎(新潟医療福祉大), 中田香玲, 権田 豊(新潟大)

- E3-3** 携帯電話を利用した講義科目におけるリアルタイム授業評価の実験的運用
大塚一徳（長崎県立大），八尋剛規（東海大）
- E3-4** Web を用いた環境教育モデルの一考察
高原尚志，松田美也子（富士常葉大）
- E3-5** 人材力の活用に伴う農学教育支援システムの構築 - Web アプリケーションのニーズ調査 -
佐々木豊，鈴木正肚，吉田寛之，中原成祐，古嶋晋也（新潟大）
- E3-6** アンケートから見た情報リテラシー教育の効果について
大塚志穂，石田光男，沖 真，古山恒夫（東海大）
- E3-7** 地域交流サテライト実習における情報化支援
佐々木豊，箕口秀夫，福山利範（新潟大）
- E3-8** ブロッキング論理を用いた運動指導システム
初山隆裕（神奈川県立深沢高等学校），新井健之（横浜国立大）

インターネット・Web 利用

8月30日（金） 15:00～17:00

座長：浮貝 雅裕（千葉工業大学）

- E5-1** ゼミにおけるインターネットの利用と分析
立田ルミ（獨協大経済学部）
- E5-2** インターネットを利用したコミュニケーション支援に関する一考察
吉野敬介，浮貝雅裕（千葉工業大）
- E5-3** インタラクティブ Web ページを題材にしたシナリオ作成環境の一検討
高田伸彦（金沢学院大）
- E5-4** インターネットを利用した教育指導方法の実験について
田口継治，川田博美，武岡さおり，尾崎正弘（名古屋女子大）
- E5-5** CONSCIOUSNESS IN THE USE OF INFORMATION NETWORKS IN THE PHILIPPINES
竹本宜弘（高崎商科大），石部公男（聖学院大），山下昌子（跡見学園女子大）
- E5-6** 国際交流支援システムにおける相互コミュニケーション機能の実現
西田裕一，松原行宏，山崎敏範，富永浩之（香川大），J.R.Wilson（ノッティンガム大）
- E5-7** 学習者適応型教育支援システムのための教材構造に関する一考察
松野圭祐，浮貝雅裕（千葉工業大）
- E5-8** インターネットを利用した宇宙教育支援システム
浅井文男（奈良工業高専）

情報倫理・セキュリティ

8月30日（金） 15:00～17:00

座長：松永 公廣（摂南大学）

- E6-1** ネットコミュニケーションの活用と問題点
梶田定子，田 春子（名古屋市立大）
- E6-2** 情報モラルに対する意識の相違と教育への配慮について
野口紳一郎（龍谷大）
- E6-3** 大学の情報倫理教育の実践（ ）
松永公廣，牧野 純（摂南大），高橋参吉（大阪工業高専）
- E6-4** 男女差を考慮した情報関連法規教育の必要性
木川 裕（武蔵野短期大）
- E6-5** 学内LANにおける授業支援システムの構築
大崎正幸（名古屋文理大）

- E6-6** ネットワークポリシーに基づいた校内ネットワークの構築
妻鳥貴彦（高知工科大）、田鍋潤一郎（土佐市立波介小学校）
岡田 実（高知電子計算センター）、清水明宏（高知工科大）
- E6-7** ネットワークセキュリティ管理者の実践的教育環境の構築
中川泰宏、須田宇宙、浮貝雅裕、三井田淳郎（千葉工業大）
- E6-8** セキュリティ教育の実態と方法論についての一考察
築 雅之、堀川三好、竹本宜弘（高崎商科大）

情報教育（2） 8月30日（金） 15:00～17:00
座長：酒井 三四郎（静岡大学）

- E7-1** 短大における資格取得の実状の調査（1） 入学における実状調査
大橋けい子、宮本 勉、渡部綾子（嘉悦大短期）
- E7-2** 短大における資格取得の実状の調査（2） 卒業時における実状調査
宮本 勉、渡部綾子、大橋けい子（嘉悦大短期）
- E7-3** オンライン・コンピュータテスト（OCT）によるリアルタイム情報技術（IT）教育の実験・実施報告
後藤公彦、酒井義隆、前川雄一（法政大）
- E7-4** 情報処理系試験のための計算問題教育ツール
福島祥夫（高崎健康福祉大短期）
- E7-5** 反復練習を重視する Web 型試験システム 情報処理教育への応用
萩原秀和、富永浩之、松原行宏、山崎敏範（香川大）
- E7-6** 東南アジア地域における情報人材育成の類型化
小川 勤（名古屋大）
- E7-7** 情報教育における視覚障害者向け音声ブラウザ
滝沢達也、酒井三四郎（静岡大）

ポスター・デモセッション

8月30日（金） 13:00～17:00

ポスター・デモンストレーション 8月30日（金） 13:00～17:00

- P1-1** ノベルゲーム型 Web 教材に関する検討
岩崎日出夫（北海道東海大）
- P1-2** 学習支援 Web アプリケーションの開発について
石田賢孝、最首和雄（明星大）
- P1-3** 日本語テキスト読解支援システム DL-MT の構築とその評価
望月源（東京外国語大）、寺朱美（北陸大）
- P1-4** 情報倫理教育のための Web ベース教材の開発と活用
高橋参吉（大阪府立工業高専）
- P1-5** 全学規模のインターネット大学院立ち上げの試み 東北大学インターネットスクールの場合
渡部信一、熊井正之、三石 大（東北大）
- P1-6** Web を利用した探求学習を支援する個人的適応型 WBL システム
光原弘幸、越智洋司、金西計英、矢野米雄（徳島大）
- P1-7** 学習者のウェブリソース活用を支援するデジタルライブラリ
越智洋司（徳島大）、新田光浩（徳島大）、脇田里子（福井大）、矢野米雄（徳島大）
- P1-8** 語学教師自身で作れる知的英作文自動添削・指導システム・アゼリア
徳田尚之、鐘慶、陳亮、森田清（㈱サン・フレア R & D センター）

教育システム情報学会

第 28 回通常総会開催通知

会 員 各位

教育システム情報学会
会 長 岡本 敏雄

教育システム情報学会の本年度通常総会を下記のとおり開催いたします。万障お繰り合わせの上、ご出席くださいますようお願い申し上げます。

なお、当日ご出席いただけない方は、同封の「委任状」を同封の返信用封筒で、本部事務局へ8月20日までにご送付ください。

記

- 1 , 開催日時 2002 年 8 月 29 日 (木) 13 : 30 ~ 14 : 00

- 2 , 開催場所 静岡大学城北キャンパス (静岡県浜松市城北 3 - 5 - 1)

- 3 , 議 案 第一号議案 2001 年度活動報告に関する件
 第二号議案 2001 年度決算報告および監査報告に関する件
 第三号議案 2002 年度活動計画案に関する件
 第四号議案 2002 年度予算案に関する件

議案は当日変更・追加もあることを、あらかじめご了承ください。

第 27 回全国大会

大会参加振込手続の延長のお知らせ！！

2002年8月20日までに振込をお願いします。

会員様 各位

教育システム情報学会全国大会事務局

この度、8/29・30の全国大会（静岡大学）の大会参加振込手続の締切日を下記のように、延期させて頂くことになりました。参加申込をされていない会員の皆様、ぜひ事前に手続をお願いします。

記

- 1．大会参加振込手続の締切日：2002年8月20日（火）
- 2．参加費用：1,000円
- 3．論文集代：5,000円（当日申込みは6,000円）
- 4．懇親会費：5,000円（当日申込みは6,000円）
- 5．問合わせ先：教育システム情報学会（JSiSE 本部事務局）
E mail：secretariat@jsise.org
URL：http://www.jsise.org
〒661-8520 兵庫県尼崎市南塚口町7-29-1
園田学園女子大学 情報教育センター内
Tel：06-4961-6507 Fax：06-4961-6508

以上

大会参加振込用紙の請求は、
（<http://horilab.ia.inf.shizuoka.ac.jp/JSiSE2002/>）から入力ください。
JSiSE事務局より振込用紙をお送りします。

☆「情報教育セミナー」開催について ☆

主 催：教育システム情報学会・情報教育特別委員会

開催日時：8月28日（水）15：00～18：00（全国大会前日）

会 場：静岡大学情報学部「情報学部2号館2階 情報24教室」（定員65名）
（全国大会会場と同じ場所です）

開催趣旨：

教育システム情報学会・情報教育特別委員会で現在進めている「情報教育推進のための提言書」編纂に関連して、将来の情報教育のあり方を総合的に討議します。情報教育への教育システム情報学会会員の意見を整理することを目的に開催しますので、情報教育に関係ある会員諸兄の参加をお待ちしています。

プログラム

- 1．情報教育特別委員会委員による報告・講演
- 2．参加者を交えた総合討論

【備考】情報教育セミナー終了後に懇親会を予定しています。

中国支部長，以下変更になりました．

支部長	岡山理科大学	宮地 功氏
副支部長	広島工業大学	喜久川政吉氏
副支部長	倉敷芸術科学大学	吉田幸三氏
監事	岡山理科大学	浦上澤之氏
	倉敷芸術科学大学	梶浦文夫氏

なお，前支部長 黒瀬能幸は支部顧問として，今後も支部活動に参加します．

今後の支部事務局は

宮地 功 MIYAJI, Isao
岡山理科大学 総合情報学部 情報科学科
〒700-0005 岡山市 理大町 1-1
Tel & Fax (086) 256-9651
Email: miyaji@mis.ous.ac.jp

となりますので，よろしくお願いします．

「e-learningが開く新しい学習環境」 論文特集号の論文募集

【主旨】

「e-learning」という用語が一般的になってきました。情報通信技術を何らかの方法で教育・研修に利用した学習形態が「e-learning」の一般的な定義です。しかし、「e-learning」という用語がこれほどまでに、社会に浸透し、それがもたらすものに大きな期待が寄せられているのには何か意味があるものと考えざるを得ません。「e-learning」は教育・学習の世界に何をもたらすのか、「e-learning」と呼ばしめる教育システムとしての要件は何か、そしてそれらを実現するための工夫された巧みな理論・技術は何か...また、産業界が企業内の枠を超えて、あらゆる教育・研修の世界をターゲットに研究・開発・販売を競争的に行っています。何が彼らを動かすのか、ビジネスモデル、販売戦略は何か...

本特集号では、「e-learning」に関する、技術・理論・実践のみならず、コンテンツ作成技法、教材構成論、ヒューマンモデル、ビジネスモデル等、幅広い分野からの論文を募集します。

教育システム情報学会はCAI学会として発足し、長い歴史の中で教育システムを対象にした学会として日本国内での中心的学会です。よって、教育システム情報学会ならではの幅の広い、ユニークな特集となるよう、広い分野の方々からの多くの論文投稿をお待ちしております。

【対象領域】

- ・ e-learning の各種機能とそれを実現する理論・技術
- ・ e-learning の実践に関する様々な方法論とその成果
- ・ 教材・コンテンツ構成論
- ・ 効果的なカリキュラム
- ・ ビジネスモデル、販売戦略
- ・ 多くの導入事例から導かれる効果的な実践の体系化
- ・ 認知科学的研究
- ・ 人工知能技術の応用
- ・ 協調学習のモデルと支援ツール
- ・ ドキュメント管理・共有技術
- ・ デジタル・ポートフォリオ
- ・ Web テスティング
- ・ e-learning における評価機構と学習履歴の可視化手法
- ・ e-learning システムの開発手法とコスト評価
- ・ その他の関連領域

【募集カテゴリ】

「原著論文」「実践論文」「ショートノート」「実践速報」「資料論文」「レビュー・解説」「実践事例」
(実践事例とは、企業や研究機関が開発したシステムやコンテンツを用いての実践に関する事例を中心に纏めたものです)

ただし、査読の結果、異なる種別での採録となることもあります。なお投稿の際、原稿の1ページ目に、論文種別と「e-learning 論文特集」であることを、必ず明記してください。

【投稿要領】

- ・一般の論文投稿規定に準じますが、本特集号の詳細に関しては、
<http://www.ai.is.uec.ac.jp/el/cfp.html>
をご覧ください。
- ・投稿に際しては封筒に「e-learning 特集号投稿論文」と朱筆してください。
- ・和文概要(500文字以内)およびキーワードをフロッピーディスク(1.44MB、テキストファイル、シフトJIS)に収めて原稿といっしょに提出してください。

【スケジュール】

投稿締め切り：2002年10月1日

掲載予定：2003年4月1日発行の論文誌

【連絡先】

松居辰則

電気通信大学 大学院情報システム学研究科

〒182-8585 調布市調布ヶ丘 1-5-1

Tel. & Fax. 0424-43-5621

E-mail : matsui-t@ai.is.uec.ac.jp

【原稿送付先】

教育システム情報学会事務局

〒661-8520 兵庫県尼崎市南塚口町 7-29-1

園田学園女子大学 情報教育センター内

Tel. 06-4961-6507

Fax. 06-4961-6508

E-mail : secretariat@jsise.org



■ 教官公募 ■

福井工業高等専門学校電子情報工学科

1. 所属学科 電子情報工学科
2. 募集人員・専門分野等
 - 1) 募集人員 助教授 又は 講師 1名
専門分野 コンピュータ科学, コンピュータ工学
担当科目 データベース, プログラミング方法論, 情報ネットワークなど
 - 2) 募集人員 助手 1名
専門分野 コンピュータ科学, コンピュータ工学
担当科目 学生実験・演習および人工知能, パターン情報処理など知識情報処理に関する科目
3. 応募資格 年齢: 助教授の場合 40 歳程度まで
講師の場合 35 歳程度まで
助手の場合 30 歳程度まで
博士の学位を有する者又は着任までに取得見込の者
高等専門学校の教育・研究に意欲があり, 学生生活指導にも理解と熱意を持ち, 心身ともに健康な者
4. 所在地 〒916-8507 福井県鯖江市下司町
5. 応募期限 平成 14 年 9 月 30 日 (月) 必着
6. 着任時期 平成 15 年 4 月 1 日
7. 応募書類 自筆履歴書 (写真貼付)
研究業績リスト (様式任意)
主要著書・論文の概要
高専における教育・研究に携わる抱負 (A4 用紙, 2,000 字以内)
で選択した著書・論文の別刷またはコピー
応募資格 において、学位取得予定のものにあっては論文提出先の推薦状各 1 部
応募書類は返却いたしませんので, ご承知ください。
8. 選考方法 第 1 次選考 書類審査
第 2 次選考 面接 (第 1 次選考合格者に対し実施日時等を連絡します。)
9. 採否の決定 決定し次第, 各応募者あてに文書により通知します。
10. 書類送付先 〒916-8507 福井県鯖江市下司町
福井工業高等専門学校庶務課人事係
TEL: 0778-62-8202 (直通)
簡易書留とし, 封筒に「電子情報工学科教官応募書類」と朱書してください。
11. 問合せ先 福井工業高等専門学校
電子情報工学科 主任 井上 昭浩
E-Mail:inouea@ei.fukui-nct.ac.jp
TEL: 0778-62-8273 (教官室直通)
FAX: 0778-62-3414 (電子情報工学科事務室)

第 90 回研究会募集のご案内

CAI 研究部会（部会長 / 黒瀬能幸）

内 容：教育工学に関する全般

開催日時：平成 14 年 10 月 5 日（土）10 時から

開催場所：摂南大学（寝屋川キャンパス）

申込締切：平成 14 年 8 月 31 日（土）

論文提出締切：平成 14 年 9 月 14 日（土）

論文提出先：〒661-8520 兵庫県尼崎市南塚口町 7-29-1

園田学園女子大学 情報教育センター内

教育システム情報学会（JSiSE 本部事務局）

論文執筆要領は、学会誌原稿執筆要領に準拠します。

論文は 4 ページ、6 ページ、8 ページのいずれかでカメラレディ（ページ数はいれないで左下に薄い鉛筆書きで記入）で提出していただきます。

発表申し込みは、

1. タイトル
2. 執筆者および所属
3. 200 字程度の概要

を下記宛ご連絡ください。プログラム作成に利用します。

〒739-2116 東広島市高屋うめの辺 1 番

近畿大学工学部情報システム工学科

黒瀬能幸

E-Mail : kurose@hiro.kindai.ac.jp

Phone 0824-34-7000(内線 863)



第2回 e-Learning技術委員会 企業内教育研究部会

合同シンポジウムのお知らせ

来る10月18日金曜日に東京電機大学にて第2回e-Learning技術委員会・企業内教育研究部会合同シンポジウムを計画いたしております。

シンポジウムの詳細は、次号のニューズレターでお知らせ致しますが概要は以下の通りですので、ご参加をご予定頂ければ幸いです。

日時：10月18日 金曜日 10:00～18:00

場所：東京電機大学 神田校舎 11号館 17階 大会議室

予定プログラム

第一部 第一部 アメリカでの高等教育
(アメリカのNPOと交流シンポジウム)

トピック1：アメリカの大学におけるオンライン学習とこれからの大学のあり方

トピック2：オンライン学習インストラクター(教員養成)プログラムの成功事例

トピック3：テクノロジーを使った学校教育全体についてのパネルディスカッション

第二部 実用期のe-Learningを考える

(1) 講演 e-Learningシフト 講演者 検討中

(2) シンポジウム「e-Learningからの離脱を防ぐには」

(3) シンポジウム「e-Learningはメリットがあるか」

モデレーターとプレゼンターは検討中

：企業内教育研究部会の部会長の交代：

このたび、小松 秀圀支部長から

新部長 NTT-X イーキューブカンパニー カンパニー長 仲林 清氏に
交代いたしましたので、お知らせします。これからもよろしく願います。

新入会員の紹介

新入会員（敬称略）

JSiSE-A0201894	燈田順子	羽衣国際大学	正会員
JSiSE-A0201895	宮崎議弘	静岡大学大学院	準会員
JSiSE-A0201896	吉川正夫	信州大学大学院	準会員
JSiSE-A0201897	関 満徳	電気通信大学大学院	準会員
JSiSE-A0201898	大崎正幸	名古屋文理大学	正会員
JSiSE-A0201899	桂川泰祥	財団法人情報処理相互運用技術協会	準会員
JSiSE-A0201900	税所幹幸	熊本県立大学	正会員
JSiSE-A0201901	中村正治	金城学院大学	正会員
JSiSE-A0201902	吉岡 茂	立正大学	正会員
JSiSE-A0201903	小川正夫	NTTラーニングシステムズ株式会社	正会員
JSiSE-A0201904	佐藤妙子	大阪電気通信大学大学院	準会員
JSiSE-A0201905	浪平博人	大妻女子大学	正会員
JSiSE-A0201906	石川久美子	NECパソコンサクウェア	正会員
JSiSE-A0201907	尾崎正弘	名古屋女子大学	正会員
JSiSE-A0201908	田口継治	名古屋女子大学	正会員
JSiSE-A0201909	川田博美	名古屋女子大学	正会員
JSiSE-A0201910	武岡さおり	名古屋女子大学	正会員
JSiSE-A0201911	栢木紀哉	宮城大学	正会員
JSiSE-A0201912	菊池尚代	株式会社ビジネスブレークスルー	正会員
JSiSE-A0201913	伊藤泰史	株式会社ビジネスブレークスルー	正会員
JSiSE-A0201914	吉崎弘一	園田学園女子大学	正会員
JSiSE-A0201915	金山さち		正会員
JSiSE-A0201916	右近 豊	日本ユニシス（株）	正会員
JSiSE-A0201917	浦嘉太郎		準会員
JSiSE-A0201918	笠井俊信	岡山大学	正会員
JSiSE-A0201919	吉本優子	大阪大学	準会員
JSiSE-A0201920	生井 仁	(株)日立製作所	正会員
JSiSE-A0201921	関 一也	電気通信大学大学院	準会員
JSiSE-A0201922	柳原佐智子	富山大学	正会員
JSiSE-A0201923	高野千尋	NTTラーニングシステムズ株式会社	正会員
JSiSE-A0201924	小池茂子	人間総合科学大学	正会員
JSiSE-A0201925	片岡久明	南九州短期大学	正会員

2002年度新入会員（2002年5月21日～7月23日）

国際会議の案内

国際会議は、教育システム情報学会の会員のみなさんからの紹介やインターネット上で流れている CFP 情報をもとに編集されています。会員のみなさんに紹介したい国際会議などがありましたら、下記までご連絡下さい。また、実際に国際会議に参加されたレポートなどを送っていただければ今後の国際会議の案内作成の際に大変参考になりますので、そちらのほうもお待ちしております。

本案内はWWW

(<http://www.fu.is.saga-u.ac.jp/~hayashijisise/conf.htm>) で見られることもできます。

UM 2003: 9th International Conference on User Modeling

開催日程: 2003年6月22-26日

開催地: University of Pittsburgh Conference Center, Johnstown, Pennsylvania, USA

論文応募締切: 2002年11月18日

URL: <http://www2.sis.pitt.edu/~um2003/>

e-mail: peterb@pitt.edu

E-Learn 2003: World Conference on E-Learning in Corporate, Government, Healthcare, & Higher Education

開催日程: 2003年11月7-11日

主催: AACE

開催地: Phoenix, Arizona, USA

論文応募締切: 未定

URL: <http://www.aace.org/conf/default.htm>

e-mail: conf@aace.org

新着情報 5 件

IEEE Virtual Reality 2003

開催日程: 2003年3月22-26日

主催: IEEE

開催地: Los Angeles, California, USA

論文応募締切: 2002年9月2日

URL: <http://www.vr2003.org/>

e-mail: Papers@VR2003.org

AAAI Spring Symposium 2003: Natural Language Generation in Spoken and Written Dialogue

開催日程: 2003年3月24-26日

開催地: Palo Alto, CA, USA

論文応募締切: 2002年10月4日

URL: <http://www.cs.niu.edu/~nlgdial/>

e-mail: callaway@itc.it

IEA 2003: The XVth Triennial Congress of the International Ergonomics Association

開催日程: 2003年8月24-29日

主催: IEA

開催地: Seoul, Korea

論文応募締切: 2002年10月31日

URL: <http://www.iea2003.org/>

e-mail: info@iea2003.org

再掲載情報 2 件

SITE 2003: Annual conference of the Society for Information Technology and Teacher Education

開催日程: 2003年3月24-29日

主催: AACE

開催地: Albuquerque, New Mexico, USA

論文応募締切: 2002年10月22日

URL: <http://www.aace.org/conf/default.htm>

ED-MEDIA 2003: World Conference on Educational Multimedia, Hypermedia & Telecommunications

開催日程: 2003年6月23-28日

主催: AACE

開催地: Honolulu, Hawaii, USA

論文応募締切: 未定

URL: <http://www.aace.org/conf/default.htm>

国際会議案内文責 松原 行宏 (香川大学)

E-mail: matsubar@eng.kagawa-u.ac.jp

第 88 回情報教育研究部会の報告

部会長 / 松永公廣

情報教育研究部会は、情報技術のめざましい普及によって社会の情報化が進められていくのに対応して、初等・中等教育から高等教育までを含めた情報教育における、実践の分析、評価、研修、教育・学習支援システムなどのあらゆる形での研究を活性化していくことを目指しています。

2001年度は、2002年3月16日に摂南大学（大阪府寝屋川市）で開催しました。全体で17件の発表が行われ、50名を越える参加者を迎え、時間的にも9時から5時半まで切れ目なく大変活発な研究・討論の場を持つことができました。今回の研究会における発表タイトルは以下のものであった（発表者とあらまはしは別に報告されます）。1）授業における Web 問題集利用の実践と課題、2）高等学校普通教科「情報」の課題と「指導解説書」の開発、3）表計算ソフトによるモデリングツールの開発、4）新教育課程に基づく小・中教科書（国語科）における情報メディア教育、5）聴覚障害学生のための動画教材字幕支援システム、6）演習などにおける協同学習のためのグルーピング提案システムの設計、7）看護学生の臨地実習におけるインターネットを活用した学習支援の検討、8）電子メールによる統合レポート受付システム、9）「情報活用の実践力」育成のための教員研修のあり方、10）インターネットによる観測情報提供システムの開発、11）情報工学としての工学設計教育、12）学習環境の拡張に関する理論とその実践、13）中学校における情報倫理教育について 学習モデルと教育方法の検討、14）学生の情報評価の把握とその傾向に関する研究 -ゲームの評価を題材として-、15）短期大学におけるメディア・リテラシー教育の実践の試み---情報教育の一つ、16）情報処理教育におけるコンピュータ不安について、17）e-learning による「情報倫理」教育の実践 -自己学習による効果と問題点-。

やはり、2）3）4）9）12）13）17）の発表が示すように、アプローチが異なるものの教科「情報」や「新しい学習指導要領」を意識した報告が増えているようにみられる。また14）のように情報行動に関する基礎的研究、1）7）15）16）のように教育実践の分析、5）6）8）10）のように教育・学習支援システムの開発、11）のようにカリキュラム開発に関する研究なども報告された。

社会の情報化の進歩とそれに応じて設置された教科「情報」の実施状況によって、現在の高等教育の情報基礎教育や専門教育が、少なからず影響を受けるとことは避けられないであろう。もしかすれば情報基礎教育はその役目を終えることになるかもしれない。あるいはこれまであまり触れられることはなかったが専門教育を充実させる橋渡しとして、「情報活用の実践力」や「情報の科学的な理解」を専門領域の特質を生かして具体的に展開する要請をうけることも考えられる。いずれにせよ、初等・中等・高等教育全体を見渡して情報教育に関する動向を探り、教育現場で利用できる情報としてフィードバックすることが情報教育研究部会の当面の課題であろう。

* 2002年度の情報教育研究部会は2003年3月15日（土）に大阪電気通信大学（大阪府寝屋川市）で実施されます。初等・中等・高等教育の情報教育に関する、さまざまな立場からの発表をお待ちします。

第 88 回研究報告

【情報教育研究部会】

研究報告書購入ご希望の方は、日本学会事務センター事業部・海外部（学協会刊行物頒布業務）まで、TEL（03-5814-5811）、FAX（03-5814-5822）Eメール（sub@bcasj.or.jp）でお申し込みください。

1部 1,300円（送料共）です。残部切れの際はご容赦ください。

なお、JSiSE 会員で「研究報告」の年間購読（購読料は送料込みで年間 4,000 円）をご希望の方は JSiSE 事務局 TEL（06-4961-6507）、Eメール（secretariat@jsise.org）までご連絡ください（年間 6 回）。この際、ぜひ購読されますようおすすめいたします（教育システム情報学会研究会委員会担当 / 伊藤紘二）。



- ・開催日：2002 年 3 月 16 日
- ・場 所：摂南大学

1. 授業における Web 問題集利用の実践と課題

橋本はる美，佐野繭美，牧野純，松永公廣（摂南大学），高橋参吉（大阪府立工業高等専門学校）

学習意欲や習得速度にばらつきのある学習者に対して、一定の学習の習慣や知識を定着させるため、各自のペースで講義内容の整理と復習を行える Web 問題集を取り入れた授業を、複数の情報処理教育の科目で実践した。Web 問題集を授業に取り入れるに至った経過と学習者が実際にどのように Web 問題集を使用しているのかを考察する。

2. 高等学校普通教科「情報」の課題と「指導解説書」の開発

西野和典（大阪電気通信大学）

2003 年 4 月から高等学校において新教科「情報」の授業が開始される。この「情報」の担当教員に対して、授業実施のための諸条件に関する意識調査を行った。その結果、実習指導教員の配置や、指導用の資料や教材の開発が課題であることがわかった。そこで、本学会の情報教育特別委員会情報教育カリキュラム検討委員会は、高等学校普通教科「情報」の学習内容、指導方法、学習評価などを解説した「指導解説書」を作成し、授業の準備にあたる担当教員に配布した。

3. 表計算ソフトによるモデリングツールの開発 下倉雅行，高橋参吉（大阪府立工業高等専門学校）

本研究は高等学校専門教科「情報」ならびに普通教科「情報」における「モデル化とシミュレーション」のための学習ツールの開発を目的としている。開発した学習ツールは、表計算ソフト上で利用するため利用方法はさほど難しくなく、高等学校の生徒にも十分に使いこなせるものといえる。ここでは、開発したツールの概要とシミュレーションの方法を述べる。

4. 新教育課程に基づく小・中教科書（国語科） における情報メディア教育

田中千博（清明学院高等学校），関野卓正（兵庫県立武庫工業高等学校），山谷滋（枚方市立開成小学校），成瀬智仁（大阪府立西寝屋川高等学校），松山倫子（大阪府公立小・中学校心の教室），森田英嗣（大阪教育大学教育学部）

平成 14 年度より小・中学校において実施される学習指導要領（国語科）を、情報教育、また、メディア教育を体系づけるため、現行のものと比較した。さらに、実際に検定に合格した教科書について調査をおこなった。すると、新課程では、現行のものよりも、他者とのコミュニケーションを積極的におこなうために自己表現を高め、情報やメディアを能動的に活用できる学力を育成しようとする構成となっていることが明らかになった。

5. 聴覚障害学生のための動画教材字幕支援システム

大倉孝昭(大谷女子大学)

視聴覚教材を利用して授業改善をしようという取り組みが行われている。しかし、聴覚障害をもつ学生にとって、「話者の口唇の動き」が見えないビデオなどによる授業は、とても不利な授業条件となる。「ノートテイク」などの方法で、音声情報を文字情報に変換するといった講義支援を行うのが一般的であるが、e-Learning の進展などを考慮すると、ビデオに字幕を付加する簡単な仕組みが必要となる。既存のビデオに字幕を挿入する場合、個人的な努力で事前に字幕を入れておくことは時間がかかりすぎて非現実的である。そこで、語学学習システムなどのために開発してきた「SMILE for ME」の技術を応用して、時分割で同時に多数のボランティアが LAN を利用してデジタル動画に字幕をつけ、これを授業中に大型スクリーンと同期した PC 画面で見る方法を提案する。

6. 演習などにおける協同学習のためのグループ提案システムの設計

- WBE/T における学習者同士の人間関係の形成をめざして -

斐品正照(宮城大学), 小笠原友也(宮城大学), 岡田口ベルト(宮城大学), 坂本英祐(東北学院大学), 鈴木克明(岩手県立大学)

大学設置基準が改正され大学教育においても、教育方法のひとつとして情報通信技術を活用した WBE(Web Based Education) や WBT(Web Based Training) などが注目されている。WBE などの学習環境においても、協同学習はとても効果的である。筆者らは、協同学習において人間関係の形成、特に学習者のパーソナリティが重要な要素になると考えている。しかし、WBE などの学習環境では CMC(Computer Mediated Communication) の様々な問題があり、人間関係の形成は容易ではないだろう。そこで、筆者らは WBE などの学習環境における人間関係の形成を支援するためのシステムを構想している。本論文では基礎的研究として行った、人間関係に関する概念の整理と対面式授業における学生間の交友関係調査の結果を述べる。その上で、

構想しているシステムを構成するサブ・システムであるグルーピング提案システムについて述べる。

7. 看護学生の臨地実習におけるインターネットを活用した学習支援の検討 - 実習中に抱える問題とコンピュータ利用状況の実態調査を通して -

竹本由香里, 西村亜希子, 糟谷昌志, 斐品正照, 岡田口ベルト(宮城大学)

本学看護学部学生の、臨地実習中に抱える問題とコンピュータ利用状況の実態を明らかにし、インターネットを活用した臨地実習における学習支援の可能性とその内容について検討した。実習中の問題については、「受持ち患者の疾患や症状について」など 5 項目を設け、自由記述で回答を得た。さらに、インターネットを活用した学習内容について期待する意見を求めた。コンピュータ利用状況では、コンピュータリテラシーとコンピュータを活用した学習への意識について調査を行った。この結果を基礎資料とし、今後のインターネットを活用した学習支援の方向性を探っていく。

8. 電子メールによる統合レポート受付システム

内田智史(神奈川大学)

電子メールによるレポート受付システムを開発し、2001 年 5 月から運用している。類似のシステムは数多く存在するが、本システムの特徴として、学生の提出したレポートを自動的にチェックし、形式不備の場合には、不備な点を返信メールの中で指摘し、再提出させる点にある。したがって、指定された形式を整えているレポートだけが受理され、受理された場合には、受理メールが返信されるようになっている。約 1 年間、運用したので、本発表では、その結果と運用上あきらかになった問題点、その問題点に対する改善点を報告する。

9. 「情報活用の実践力」育成のための教員研修のあり方

岡谷善博, 丸山和男(長野県総合教育センター), 大下真二郎(信州大学工学部)

情報活用能力の 3 つの観点のうちの「情報活用

の実践力」に焦点を当て、教員の「情報活用の実践力」育成のための問題解決・課題解決の学習モデルを考案し、学習モデルに沿って「計画」～「情報の発信」までの段階を体験する研修の中に、ディベートを取り入れた研修プログラムを開発し、実践した。その結果、各段階において情報活用の実践力の要素となる評価の観点について効果が見られ、本研修の有益性が示唆された。

10. インターネットによる観測情報提供システムの開発

小松幸廣，坂谷内勝，吉岡亮衛（国立教育政策研究所）

観測情報収集装置を学校に配備し、インターネットを通じて全国規模の気象や環境情報を相互に提供し教材として利用することを考えた。このようなシステムを実現するためにサーバー機能を持った観測情報収集装置の開発と関連教材の開発を行おうとするものである。ここでは観測情報収集装置に求められる機能と性能、教材利用の見通し等について述べる。

11. 情報工学としての工学設計教育

江見圭司（金沢工業大学）

金沢工業大学では工学設計という科目がある工学設計 と工学設計 はそれぞれ1年次、2年次に履修する。工学設計という思想は機械工学中心であるが、情報工学科でこれを適用するのはかなり苦労がある。本発表は機械工学の工学設計との違いを考慮しながら、情報工学としての工学設計教育の実践について報告するものである。

12. 学習環境の拡張に関する理論とその実践

-「ジョイントレッシン大阪大学編」を事例として-

西端律子，菅井勝雄（大阪大学）

本研究では、学習環境の拡張をめざす「生態学的学習環境モデル」を取り上げ、生態学的アプローチより発達する子どもの環境の複雑性を分析する。また、「生態学的学習環境モデル」の適応例として、吹田市立第二中学校の「進路学習」の一実践「ジョイントレッシン大阪大学編」を報告する。

13. 中学校における情報倫理教育について - 学習モデルと教育方法の検討 -

阿濱茂樹（兵庫教育大学），西野和典（大阪電気通信大学）高橋参吉（大阪府立工業高等専門学校），松浦正史（兵庫教育大学）

インターネットの普及により、ネットワーク社会における生徒の振るまいについて、中等教育においても情報倫理を効果的に習得できる教授・学習法の開発が求められてきている。そこで、生徒の知識と意識を考慮した、「中等教育における情報倫理学習モデル」の提案を行った。また、その学習モデルを用いて、中学校における情報倫理の学習計画を立案し、外部講師の講義を導入した授業実践を行った。その結果、「知識」の習得および「意識」の形成の結果、「行為」にも変化が見られ、学習モデルを立証することができた。

14. 学生の情報評価の把握とその傾向に関する研究-ゲームのプレイヤーの評価を題材として-

浅羽修丈（大阪電気通信大学），上月景正（コナミ株式会社），長谷川知彦（大阪電気通信大学），田中邦宏（大阪府立工業高等専門学校），石桁正士（大阪電気通信大学）

情報教育では、学生の情報発信能力、情報表現能力、情報評価能力をどのように育成するかが議論の対象となっている。特に、発信、表現された情報などをそれぞれ学生が評価した結果が、その学生の今後の学習活動にフィードバックしたり、フィードフォワードしたりする可能性があるため、学生の情報評価能力を育成することは重要である。

我々は学生がどのような評価を行う傾向があるのか、またどのような考え方で評価を行っているかに注目して研究を行っている。今回は、ゲームのプレイヤーを題材として我々の研究室で開発し主観値入力装置により採取された評価データを中心に、学生の評価の傾向について報告する。

15. 短期大学におけるメディア・リテラシー教育の試み - 情報教育の一つの面としてのメディア教育 -

新田眞一（四條畷学園短期大学）

短期大学における授業「パソコン演習Ⅰ」で、

メディア・リテラシー教育を試みた。受講生が視聴したテレビ・コマーシャル(CM)について、アンケートの回答をもとめた。さらに、メディア・リテラシー教育における分析手法を用いてCMの分析作業と、グループの話し合いと発表を課した。

16. 情報処理教育におけるコンピュータ不安について

鳥居稔, 原田章, 中西通雄 (大阪大学)

The computer literacy course of Human Sciences in Osaka University, for about 140 freshmen, has ability grouping strategy based on their computer proficiency at the beginning of the course since 2000. Its purpose is conducting classes in line with each stages of student's computer proficiency by considering the its discrepancy among students at the beginning of the course. In this research, for varidating the advantage of ability grouping strategy, we compare students of Human Sciences with that of another academic faculty. According to the result of the analysis on computer anxiety and self-evaluation for proficiency, the strategy seems to have a beneficial effect on students who have low computer proficiency at the be-ginning of the course. Particularly, this research shows clearly that their computer anxiety are reduced rapidly from beginning of the course to mid-term on the other hand self-evaluation for proficiency are increased rapidly at the same time.

17. e-learning による「情報倫理」教育の実践と評価

山本 恒 (園田学園女子大学)

情報倫理の授業を,与えられた課題をネット上のWeb資料を読みながら解決していく方法で,本学の遠隔自己学習支援システム(e-learning)を利用して実施した.ユニットごとに,課題,小テストを設け評価の視点を明らかにして,ユニットごとに評価を学生に返すことで,学生とのコミュニケーションを図った.その結果,情報倫理の授業をe-learningで行うことの有効性が確かめられた.

